

## HTB制作のドキュメンタリー

### TOYAから明日へ!

# 氷の島のメッセージ～グリーンランド温暖化の最前線から 科学放送高柳健次郎賞 優秀賞を受賞

HTBが1カ月に及ぶ学術調査に同行取材し、温暖化による影響を多角的に切り取ったドキュメンタリー『氷の島のメッセージ～グリーンランド温暖化の最前線から』が、2014年度の科学放送高柳健次郎賞 優秀賞を受賞しました。

科学放送高柳健次郎賞とは、科学技術の振興とその知識の向上に役立つ優れた科学放送番組を放送した放送局を表彰している権威ある賞です。

今回の受賞について、プロデューサーの濱中貴満は、「このたびは歴史ある科学放送高柳健次郎賞を受賞することができ光栄の極みです。科学技術が人類を発展させてきました。テレビも科学技術の賜です。科学番組に与えられるこの賞の受賞を励みに、今後も一生懸命全力で番組制作に当たりたいと思います。」と話しています。

【受賞番組】 HTB開局45周年記念特別番組

TOYAから明日へ!

氷の島のメッセージ～グリーンランド温暖化の最前線から

【放送日時】 2013年11月4日(月・振替休日) 13:55～14:52(北海道ローカル)

ナレーター

原田 知世

ディレクター

金子 陽 (HTB)

撮影

三戸 史雄 (HTB映像)

プロデューサー

山本 裕之・濱中 貴満 (HTB)

【番組内容】

世界最大の島、グリーンランド。日本の約6倍を占める面積のほとんどが分厚い氷床や氷河で覆われた「氷の島」だ。この氷が近年、凄まじい規模とスピードで減少していて、地球温暖化の影響が疑われている。北極は気候変動の影響が地球上で最も顕著に現れる地域とされていて、文部科学省は国立極地研究所をはじめ国内35機関の連携のもと、2011年度から5ヵ年計画で大規模な観測研究事業に乗り出した。今回、HTBの取材班は、研究の一翼を担う北海道大学のチームに同行取材。北緯77度の街・カナックを拠点に、6月下旬から約1ヵ月間にわたり観測活動の最前線に迫りながら、グリーンランドに生きる人々の姿、そこに住む日本人、そして漁業への影響などについて、多角的に切り取り、はるかグリーンランド・氷の島が私達に伝えるメッセージを追った。

【受賞歴】 ・第55回科学技術映像祭 「自然・暮らし部門」 優秀賞

・北海道映像コンテスト2014 テレビ番組部門 優秀賞